18JEITA－情シ第 186 号
平成 19 年 1 月 26 日

関係各位

（社）電子情報技術産業協会
パーソナルコンピュータ事業委員会
コンテンツ・PC セキュリティ専門委員会
委員長　篠原 克也

AACS キー更新に関するカタログ、取扱説明書等における表示について

拝啓　時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。
平素は、当協会諸事業に格別のご協力を賜りまして、厚く御礼申し上げます。

さて、次世代 DVD の実用化により、次世代 DVD に対応したパーソナルコンピュータが出荷されはじめました。次世代 DVD では著作権保護の方式として AACS（Advanced Access Content System）を採用しており、パーソナルコンピュータに搭載された次世代 DVD ソフトウェアを継続的にご使用いただくためには、消費者に AACS 用の暗号鍵(AACS キー)を定期的に更新していただく必要があります。

そこで、当コンテンツ・PC セキュリティ専門委員会では、AACS キーと、その更新の必要性について、消費者に分かりやすく理解いただくための表示内容の検討を進めてまいりました。
このたび、検討結果がまとまりましたので、ご報告させて頂くとともに、貴社関係部署におかれましては、周知徹底のほどを、よろしくお願い申し上げます。

敬具

記

１．対象となる機器
次世代 DVD ドライブを搭載して、Proactive Renewal 方式による AACS 方式を搭載するパーソナルコンピュータ。

２．表示内容
カタログ、取扱い説明書および Web 等上の説明文等にて、以下の内容の表示を行うことを推奨する。
- 著作権保護されたコンテンツを録画・再生するために著作権保護技術 AACS を採用していること
- AACS キーの更新が必要なこと
- AACS キー更新の手段
- AACS キーを更新しない場合に生じること
- AACS キーを更新しなくても利用できること
- AACS キー更新の保証期間を限定する場合は保証期間と保証期間終了後の対応

３．実施時期
2007 年 4 月 1 日までに実施。

4．表示例

例 : 種類 : HD DVD、機能 : 録画・編集・再生、更新手段 : メッセージに従いインターネット接続、期間 : 製品出荷開始後 X 年間、の場合

HD DVDでは著作権保護されたコンテンツを録画・編集・再生するために著作権保護技術AACSを採用しています。HD DVDを継続的にお使いいただくためには、定期的にAACSキーを更新することが必要です。AACSキーは録画・編集・再生ソフトウェアが表示するメッセージに従いインターネットに接続することで更新することができます。更新しない場合には、著作権保護されたコンテンツの録画・編集・再生ができなくなる可能性があります。なお、著作権保護されていないコンテンツの録画・編集・再生には支障はありません。本機にインストールされて提供されたHD DVD録画・再生ソフトウェアは製品出荷開始後X年間はAACSキーの更新を行うことができます。それ以降の対応につきましては弊社ホームページ等でご案内します。

下線部は各社の搭載する次世代 DVD の種類やサービスの内容に従って読み替える。
下線部は各社の搭載する次世代 DVD の種類やサービスの内容に従って読み替える。

下線部は各社の搭載する次世代 DVD の種類やサービスの内容に従って読み替える。

以上